

## アルミホイルを使った創作活動見学記

11月～12月にかけて、江戸川区立西一之江小学校、横浜市立美しが丘西小学校、江戸川区立大杉小学校の3校でアルミホイルを使った創作活動・展示が開催されました。

当協会は「低年齢層への広報活動強化」を今年度の活動強化目標の一つに掲げ、これらのイベントに全面的に協力し、(株)UACJ製箔様、東洋アルミニウム(株)様、三菱アルミニウム(株)様の3社より、アルミホイルを提供頂きました。今回、3校での展示を見学しましたので概要を報告致します。

### 1、江戸川区立西一之江小学校

- ① 日 時：2017年11月24日(金) 13:00～17:00  
25日(土) 9:00～17:00
- ② 場 所：同校体育館
- ③ 内 容：展覧会(小学生が前日までに体育館の2階部分を、造形したアルミホイルでギャラリー風に装飾)
- ④ 対 象：小学4年生(主体)、5年生
- ⑤ ホイル提供：(株)UACJ製箔
- ⑥ 当方見学時に対応いただいた方  
：林田篤志校長先生(全国小学校理科研究協議会会長・関東甲信越地区小学校理科研究会会長)  
星野先生(同校図工担当)

対応いただいた先生方のお話では、事前の造形・装飾時、子ども達は、はじめのうちは今まで見たことのないアルミホイルの量に圧倒されて戸惑っていましたが、徐々に慣れてゆき、色々なアイデアを出し合って作品を仕上げることができたとのことでした。

今回は、アルミホイルだけではなく、アルミの針金も使用していました。針金を芯にしてその周りに新聞紙を巻いたものを作り、その上にアルミホイルを巻いて作品を作るということも行っていました。この方法ですと自由自在に曲げることができ、立体的で躍動感のある作品に仕上がりに、アルミホイルを用いた造形の可能性が広がります。

作品は、植物の蔦に大小の花、葉、果実、蝶、鳥、星、ハート、飛行機、太陽などを散りばめ、体育館2階部分の手すりやバスケットゴールに絡むように飾ってありました。日の当たり方でオブジェが輝いたり影ができたりと、時間と共に表情が変わるのもとても美しかったです。

また、アルミホイルの作品の他に、アルミの針金(太、細2種類)で作ったタワー(小学5年生)もあり、そこにも部分的にアルミホイルで装飾をしてありました。



体育館内 装飾の様子



鳶と実



花、蝶、星など



鳶、花、鳥など



アルミタワー

## 2. 横浜市立美しが丘西小学校 ー造形ワークショップ「アルミの森」ー

- ① 日 時：2017年11月28日(火) 8:40～10:15 (第1回目)  
10:35～12:10 (第2回目)  
29日(水) 8:40～10:15 (第1回目)  
10:35～12:10 (第2回目)
- ② 場 所：同校図工室 (2部屋)
- ③ 内 容：造形ワークショップ「アルミの森」  
(アルミホイルを用いた造形・装飾)
- ④ 対 象：小学6年生
- ⑤ ホイル提供：東洋アルミニウム (株)
- ⑥ 当方見学時に対応いただいた方  
：江口和良校長先生、岡野先生 (図工担当)
- ⑦ 主催・講師：轟 颯馬氏 (横浜国立大学 教育学部大学院生)

轟氏が講師となって開催した子供向けアルミホイル造形ワークショップ「アルミの森」が横浜市立美しが丘西小学校で開催されました。

西一之江小学校の生徒同様に、大量のアルミホイルを前にして子ども達は圧倒されているようでしたが、時間と共に扱いに慣れて、試行錯誤しながら楽しく作品を作り上げていました。

あらかじめ轟氏が用意しておいたアルミの木と木製の家や台に子ども達がアルミホイルで装飾をしたり、また、思い思いの作品を作るなど、個性的で魅力的な作品が出来上がりました。中にはアルミ星人？(宇宙人)や観覧車などユーモア溢れるもの、完成度の高いものなどがあり、子ども達の熱いこだわりを感じました。

江口校長先生は「横浜市小学校図画工作教育研究会」に所属されていることから、このような創作活動にとっても積極的です。また、アルミホイルという材料が子ども達にとって身近で魅力的な材料であるというお考えをお持ちであり、今後、横浜市内の小学校へアルミホイルの魅力を広げるためにご協力いただけるとの言葉をいただきました。

また、教科書出版会社大手の開隆堂出版(株)が取材に訪れていたとのことでした。

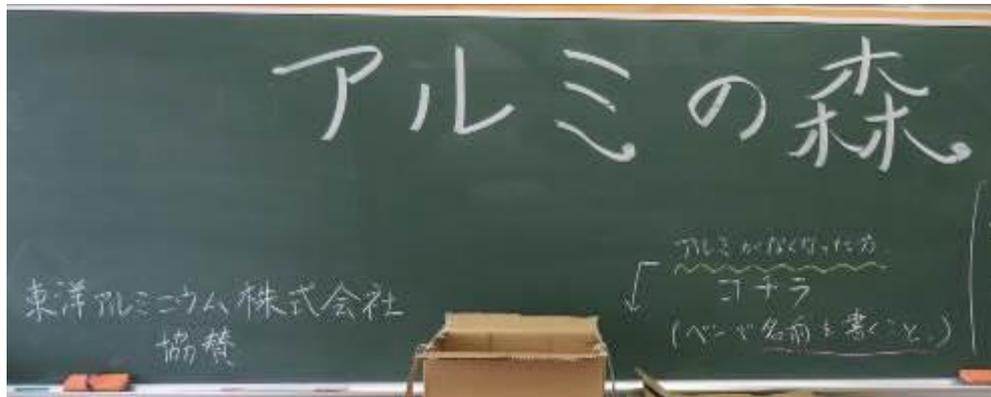




アルミの家



アルミのオブジェ



アルミホイル提供会社の紹介



アルミ星人?



観覧車

### 3. 江戸川区立大杉小学校

- ① 日 時：2017年12月1日(金)・2日(土)
- ② 場 所：同校体育館
- ③ 内 容：展覧会（アルミホイルを使った造形・展示）
- ④ 対 象：小学6年生
- ⑤ ホイル提供：三菱アルミニウム（株）
- ⑥ 当方見学時に対応いただいた方  
：武先生（図工担当）

体育館の入口付近とステージ上にアルミホイルを使った作品が展示されていました。創作風景は見学できなかったのですが、ステージ上は6年生の共同作品が展示されており、ハート型、星型、花柄模様、人の顔など様々な作品が立体的に展示されていました。

武先生によりますと、子ども達はとても時間をかけて丁寧に作品を制作していたとのことでした。アルミホイルを提供頂いたことに大変喜んでおられました。



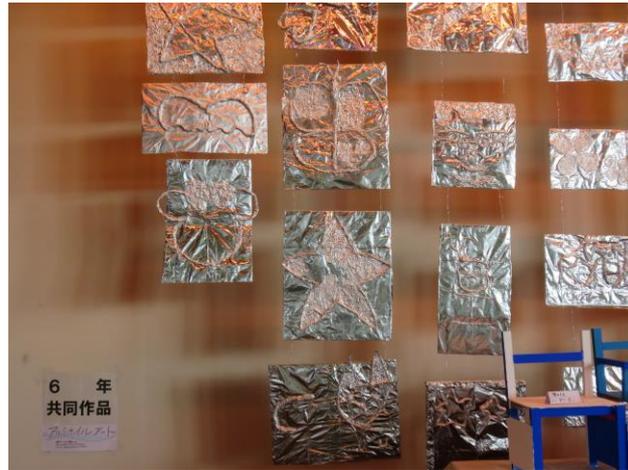
入口付近の様子



体育館内部の様子



ステージ上の共同作品



ステージ上の共同作品



ハート型をした作品



星型をした作品

#### <感想>

- 今回見学させていただいた小学校3校は、それぞれ違う形で創作活動をしていましたので、とても興味深く、アルミホイルと子供たちとの交わり方に可能性の広がりを感じました。

後日、先生方から「子ども達はたくさんのアルミホイルと接し、十分楽しむことができた」「保護者から、アルミホイルの図工はとても楽しかった！という声をいただいた」との嬉しい報告がありました。

アルミホイルに向き合いながら「何を作ろうか」、「どうやったら出来るのだろうか」と試行錯誤しながら、ひとつひとつ創作していく様子を見てみると、子ども達の中で考える力が育ち、素材と触れ合う楽しみ・魅力を感じる事が出来たのではないかと思います。
- このような活動を進めていくことによって、子ども達が「アルミ」に興味を抱き、生活の様々な場面に「アルミ」があることに気づいてもらうきっかけになるのではないかと実感しました。

更に、子供たちが大きくなって、何らかの形でアルミニウムという材料に関わってくれたなら、アルミニウムのファンでいてくれたなら、このような活動も大いに意味あることではないかと思います。

- 横浜市立美しが丘西小学校を取材していた教科書出版会社大手の開隆堂出版(株)の方とお会いし、お話しすることができました。当協会の今後の活動においてご助力いただきたいと思います。

最後に、当協会の活動にご理解いただき、アルミホイルを提供いただいた(株)UACJ 製箔様、東洋アルミニウム(株)様、三菱アルミニウム(株)様には深く御礼申し上げますとともに、今後ともご協力お願い申し上げます。